

第1章 生物の特徴

1

生物の多様性と共通性



- (1) 生物の分類の基本的な単位。
- (2) 世代を重ねて受け継がれていく過程で変化していくこと。
- (3) 生物が持つ形や性質。
- (4) 親の形質が子に伝わること。
- (5) 生物の進化にもとづく類縁関係。
- (6) (5)を表す図で、樹木に似た形に描かれているもの。
- (7) 遺伝情報などを比較し、生物どうしの類縁関係を調べてつくる系統樹。
- (8) ゾウリムシなど1個の細胞でできてる生物。
- (9) ヒトなど多くの細胞できている生物。
- (10) 遺伝情報を担っている分子。
- (11) 核という構造を持つ細胞。
- (12) 核という構造を持たない細胞。
- (13) (11)において、核以外の部分。
- (14) 植物細胞では、細胞膜の外側に何があるか。
- (15) 核の最外層。
- (16) (15)にある多数の小さな孔。
- (17) 核をはじめとするさまざまな構造体。
- (18) ほとんどの真核細胞に存在する、呼吸によって生命活動に必要なエネルギーを取り出すはたらきが行われている場所。
- (19) 光のエネルギーを吸収して光合成が行われている場所。
- (20) 核やミトコンドリア、葉緑体などの細胞小器官のまわりにある流動性に富んだ基質。
- (21) 真核細胞からなる生物。
- (22) 生きた細胞で、細胞小器官が流れるように動く現象。
- (23) DNAが核膜によって囲まれていなく、ミトコンドリアや葉緑体などの細胞小器官も見られない細胞。
- (24) (23)からなる生物。